

ジョリパットマテリアルシリーズ  
ルナフォシルS仕上げ  
施工の手引き

**適用品番**

ジョリパットアルファ JP-100シリーズ

ジョリパットノンフリーズ JPW-100シリーズ

【初版】平成22年 4月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	1液水系アクリルシーラー (水で50~100% 希釈して使用)	18kg/缶	約135~240 m <sup>2</sup> (水希釈量で 変動)
	<u>ジョリパットシーラー</u> <u>JS-410</u>	<u>1液溶剤系</u> <u>アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約75~100 m<sup>2</sup></u>
	<u>セーフシーラー</u> <u>JS-800</u>	<u>1液水系珪酸系シーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約80~106 m<sup>2</sup></u>
主材	<u>ジョリパットアルファ JP-100 シリーズ</u> ( <u>ジョリパットノブリーズ JPW-100 シリーズ</u> ) 標準色 <u>JP(W)-100T</u> ( <u>...数字</u> ) 特注色 <u>JP(W)-100</u> ( <u>...英字、...数字</u> )	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約6 m <sup>2</sup>
骨材	JF-66	ミックス骨材 A	10kg/袋入り	約9 m <sup>2</sup>
	JF-67	ミックス骨材 B	21kg/袋入り	約9 m <sup>2</sup>

セーフシーラー JS-800 は2kg×2個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約20~25 m<sup>2</sup>/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

ジョリパットノブリーズの使用目安温度は-6 ~ 10 度です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

< 主な施工道具 >

- ・金ゴテ
  - ・JR-75 (スポンジローラー): 

9インチ替え筒2本 3インチローラー1本、 3インチ替え筒1本
---------------------------------------

 /1梱包
  - ・JR-77 (並白糊刷毛): 1本/梱包
- JR-75の9インチローラーには柄がついていません。

< 下地調整 >

モルタル金ゴテ押さえ(平滑)など

<ルナフォシルS仕上げ施工方法>

1 . シーラー塗布

配 合	J S - 5 0 0	1 8 k g
	清 水	9 ~ 1 8 ㍓
塗 布 量	0 . 1 5 ~ 0 . 2 k g / m <sup>2</sup>	
施 工 方 法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-410の場合

配 合	J S - 4 1 0	1 5 k g
塗 布 量	0 . 1 5 ~ 0 . 2 k g / m <sup>2</sup>	
施 工 方 法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 " JS-800の場合

配 合	J S - 8 0 0	1 6 k g
塗 布 量	0 . 1 5 ~ 0 . 2 k g / m <sup>2</sup>	
施 工 方 法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3 時間以上 4 8 時間以内

2 . 主材 下塗り

・ JP(W)-100 シリーズ を無希釈で 0 . 9 k g / m<sup>2</sup> となるよう金ゴテにて平滑に塗布して下さい。

夏期 4 時間以上

冬期 1 2 時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3 . 主材 配り塗り

配 合	<u>J P ( W ) - 1 0 0 シリーズ</u> J F - 6 6 J F - 6 7 清 水	2 0 k g 1 0 k g 2 1 k g 3 ㍓
塗 布 量	約 6 . 0 k g / m <sup>2</sup>	
施 工 道 具	金ゴテ	
	金ゴテにて平滑に材料を配り塗り。	

追いかけて ( 5 分以内 )

4 . 洗い出し

- ・ 十分に水を浸した JR-77 を壁面に対して寝かせ、横方向に動かしてください。( 図 - 1 )
- 刷毛引きは、骨材の色が見えるまで行なってください。洗い流した水で地面等が汚れるため、新聞紙、ウエス、マスクなどで地面等を養生すること。( 図 - 2 )
- また、施工箇所より下に、化粧サイディングや天然石などがある場合、洗い出しした水で汚れるため特に養生に注意してください。

追いかけて ( 5 分以内 時間厳守 )

5 . スポンジローラー押さえ

- ・ パターン付けを行なった後、滴り落ちる水をスポンジローラーを横に転がす事で吸い取ってください。( 図 - 3 )
- 入隅では予め縦方向に転がした後、横方向に転がす。

< 施工のポイント >

- ・ 洗い出しは、JR-77 を充分水に浸した後ジョリパットの表面を軽く削るように行なってください。この時、JR-77 は壁面に対して寝かせ ( 図 - 1 ) パターン付けしてください。JR-77 は、こまめに洗ってください。
- ・ 大量の水で洗い流すと塗材がたれる為、注意する。

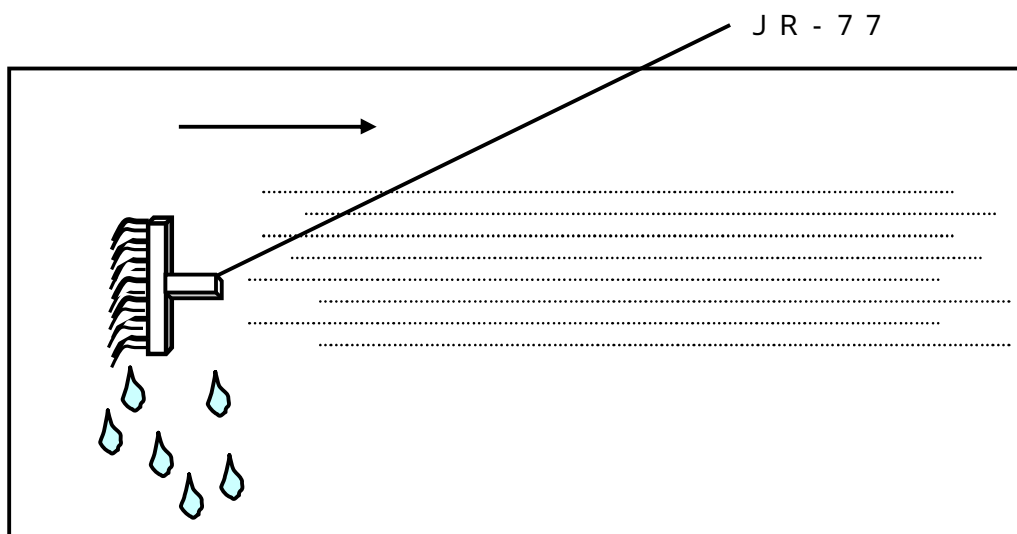


図 - 1

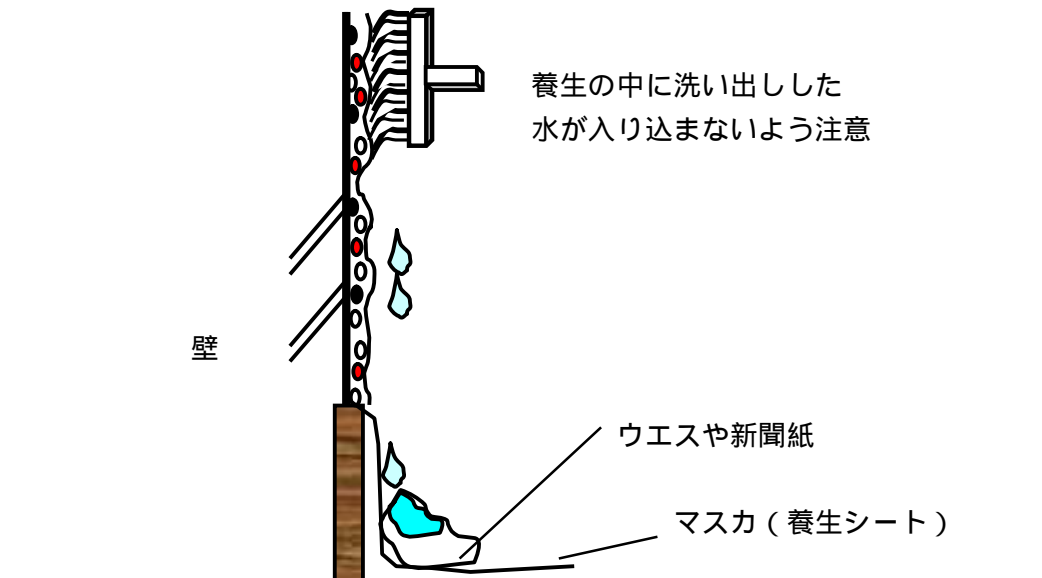


図 - 2

- ・ JR - 77で洗い出しをした後、JR - 75を軽く十字方向に転がし水を吸い取ってください。JR - 75がある程度水を含んだら、きれいな水で洗い、その後、絞ってしっかり水を切るようにしてください。(JPの空き缶に水を入れておくと便利です。)

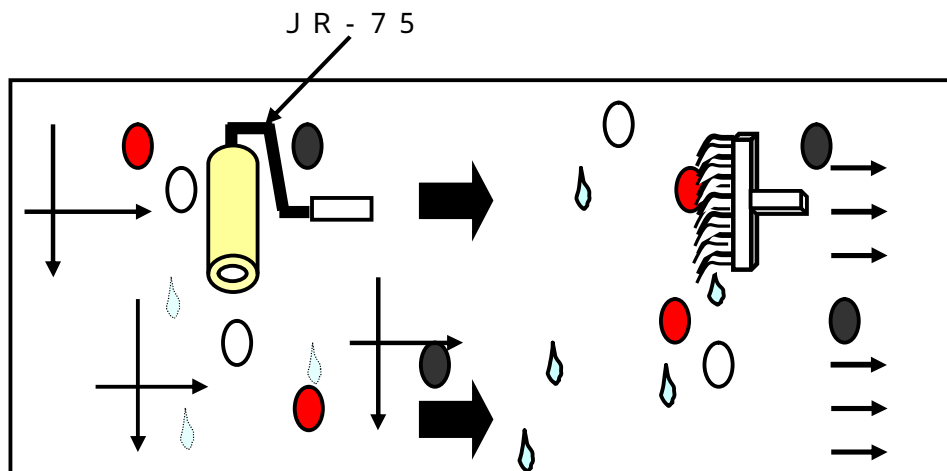


図 - 3

< 施工の注意事項 >

- ・ 配り塗り 1 人、洗い出し + スポンジローラー 1 人の 2 人 1 組で施工して下さい。
- ・ 施工する場合には、床等が汚れないよう必ず養生して下さい。
- ・ 洗い出しの際、施工箇所以外が洗い出しの水で汚れないよう十分に養生してください。また養生シートは、溜まった水をウエス等で吸い取った後に取り除くなど、洗い出しを行った水が壁面に付かないよう注意してください。
- ・ スポンジローラーで表面に浮いた水を除去して下さい。  
(きれいに除去できないと、水が垂れた跡が変色して見えます。)
- ・ この仕上げは天然石を使用している為、見本と色目が異なる事があります。
- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し吹きを行い、仕上がり、乾燥性を確認してください。
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。  
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 気温 5 以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 冬季の 5 以下での施工の際は、ジョリパットノフリーズ JPW-100 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS - 410 をご使用下さい。  
しかしながら、-6 以下、降雨、降雪などの条件下では JPW-100 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以上